

**大村市営テニスコートの増設の実現に向けて!!**  
**とまと学童クラブの施設改善について**

**永尾議員**

**(1) 教育行政について**

市営テニスコートの増設については、先の市議会で、「財政が厳しい中であるが、早ければ1、2年以内に方向づけを行いたい」と思っている。」と大変前向きな答弁をいただきましたので、ご提案させていただきます。陸上競技場横のテニスコートの海側にある熱帯植物園の場所が最適地であると思いますが、この場所で増設できないでしょうか。

**(2) 福祉保健行政について**

「とまと学童クラブ」の施設改善については、20年度以降に隣接の鉄骨骨組みを再利用するという方向であったが、大村市の幼稚園整備計画が策定中であり、大村幼稚園の充実を検討している。整備計画の策定状況を見ながら再検討をしなければならぬという答弁をいただいたので、ご提案させていただきます。23年度に統廃合された後の、大村市立南部地区学校給食センターが、学童クラブの施設として最適であると思えますが。

**市長** (1) 今回は、旧真珠研究所跡地、梶山御殿の前あたりの提案であるが、平成14年度の文化財審議会において、玖島城船役所跡について協議を重ねていただいた。その結果、当時は、いわゆる海城としての特徴的景観が最もよく残る場所、県と国指定を視野に入れて保存を進めるべきとの意見であった。市としても保存については慎重を期しながらも、再度審議会に諮問しようと考えている。今後候補地のひとつとして方向づけをしていきたい。

**福祉保健部長**

**(2) 学童保育について**

では学校敷地内施設運営が理想的であるが、学童児童数の増加は学校児童数の増加でもあり、加えてほとんどの学校が敷地に余裕がないことから、学童施設の拡充が厳しい状況にある。とまと学童クラブの施設拡充についても、横の倉庫や隣接の鉄骨骨組みの再利用の方向で検討してきたが、難しい状況にある。学校給食調理場の廃止後の活用については、立地条件としては申し分のないところであり、今後教育委員会と協議をしていきたい。

**(その他の質問事項)**

郷土芸能の保存と育成について



とまと学童クラブ

**女性のがん検診対策**  
**(乳がん検診率アップ) への取り組みについて**  
**21年度の市バス路線対策費とバス路線運行費について**

**三田村議員**

(1) 女性のがん検診対策について

① 乳がん (マンモグラフィ) 検診について 現在2年に1回40歳以上を対象に乳がん検診が行われていますが、大村市は県内23市町において最下位の受診率であり、病状が進行し悪くなるといわれています。このことをごのように考えておられますか。

② 乳がんの早期発見、早期治療のために今後、国保けんこう課

としてはどのような対策をとられますか? ぜひ来年度から長崎県健康事業団マンモグラフィ検診車の巡回で、受診しやすい方式をとってほしい。また乳がん撲滅の啓蒙活動として、NPO法人ピンクリボン運動を取り入れて、健康フェスタ及び講演会等の開催をぜひ実施してほしい。

(2) バス路線維持対策費について

① 今後、循環バス、コミュニティバスなど、検討に切れ抜本的見直しを21年度からされますが調査方法と対策費についてお尋ねします。

② 今後のバス運行費についてどの程度維持できるのか。

**福祉保健部長**

**(1) マンモグラフィ**

① 検診については、平成17年度までは視触診中心の検診を行っていたため受診が少なかった。18年度からは、受診率を上げるために市内医療機関で視触診を行い、市立病院でマンモグラフィ検診を行う連携による検診を行っている。検診率は年々上昇している。大村市の罹患率は県下でも2位となっており、早期発見、早期治療が望まれている。

② 今後は今まで以上に市内医療機関と連携をとりやすいようにルールづけを行いたい。受診率向上に向け集団検診の導入につ